

# 2023年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議案

日時：2023年7月4日（火）

## 議 題

1. 欠員理事等の補充	2ページ
2. 事業等の担当役員の選任	2ページ
3. 2022年度事業報告および会計報告	3ページ
(1) 2022年度事業報告	3ページ
①支部理事会	3ページ
②支部だより	3ページ
③支部気象講演会	3ページ
④支部気象研究会	4ページ
⑤日本気象予報士会東北支部と連携した活動	5ページ
⑥日本気象学会小倉奨励賞の推薦	5ページ
(2) 2022年度会計報告	6ページ
4. 2022年度会計監査報告	7ページ
5. 2023年度事業計画および予算案	
(1) 2023年度事業計画案	
①支部理事会	8ページ
②支部だより	8ページ
③支部気象講演会	8ページ
④支部気象研究会	9ページ
⑤日本気象予報士会東北支部と連携した活動	9ページ
⑥日本気象学会小倉奨励賞の推薦	9ページ
(2) 2023年度予算案	10ページ
6. その他	
(1) 2023年度秋季大会実行委員会委員の補充	11ページ
(2) 2023年度秋季大会実行委員会進捗状況	11ページ
(3) 日本気象学会全国大会のあり方について	13ページ
(4) 事務局から	14ページ

## 資 料

役員名簿（第33期2023年度）（案）	15ページ
東北支部規則（案）	16ページ
東北支部細則	18ページ

## 議題1. 欠員理事等の補充

4月1日付人事異動により理事2名および会計監査1名が欠員。幹事1名も欠員。

「支部規則」第9条、「支部細則」12項の規定に基づき、理事会の推薦によって理事および会計監査を補充する。

幹事については、「支部規則」第13条で幹事(3~4名)を置くことができるとあるが、昨今の業務繁忙を考慮し、1名追加し2名補充することとしたい。このためには、支部規則第13条の下線部を4~5名に改正する必要がある。

支部規則

第13条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事(3~4名)を置くことができる。

なお、「支部規則」の改正を行うには、「支部規則」第19条により、理事の3分の2以上の賛成を得なければ変更することができないため、ここで承認を得たい。

事務局(案)は以下のとおり。

- ・ 常任理事 仙台管区气象台気象防災部長 立原 秀一 氏 の後任として、  
仙台管区气象台気象防災部長 細見 卓也 氏 を推薦する。
- ・ 地方理事 盛岡地方气象台長 中舘 明 氏 の後任として、  
秋田地方气象台長 山本 佳緒里 氏 を推薦する。
- ・ 会計監査 仙台管区气象台気象防災部次長 島津 勝也 氏 の後任として、  
仙台管区气象台気象防災部次長 齊藤 重隆 氏 を推薦する。
- ・ 幹事 仙台管区气象台気象防災部地球環境・海洋課 淵上 隆雄 氏 の後任として、  
仙台管区气象台気象防災部地域防災推進課 中川 憲一 氏 と  
仙台管区气象台気象防災部予報課 楠本 絵莉子 氏 を推薦する。

## 議題2. 事業等の担当役員の選任

事務局(案)は以下のとおり。

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| ① 支部気象講演会<br>(2023年度秋田開催) | 山崎常任理事<br>○山本地方理事 |
| ② 支部気象研究会                 | 橋本常任理事            |
| ③ 東北支部だより                 | 菅原常任理事            |
| ④ 日本気象予報士会東北支部と連携した活動     | 杉山常任理事            |
| ⑤ 支部事務局                   | 橋本常任理事            |
| ⑥ 会計監査                    | ○齊藤会計監査           |

○印は新任

### 議題3. 2022年度事業報告および会計報告

#### (1) 2022年度事業報告

##### ①支部理事会

- ・第1回（オンライン開催 2022年7月6日）
- ・臨時理事会（書面開催 2022年12月28日～2023年1月11日）
- ・第2回（オンライン開催 2023年3月23日）

##### ②支部だより

###### ■第95号（2022年10月発行）

- ・支部長就任あいさつ
- ・TOPIC「地域の過去気象の再現と気候の将来予測」：山崎 剛氏（東北大学）
- ・2021年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・2022年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・日本気象学会東北支部第33期役員選挙結果について（投票結果の公示）
- ・日本気象学会東北支部気象講演会のご案内
- ・東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・事務局からのお知らせ

###### ■第96号（2023年3月発行）

- ・TOPIC「東北地方における気象業務の始まりについて～気象の観測を中心に～」  
：立原 秀一氏（仙台管区気象台気象防災部長）
- ・報告1「2022年度 日本気象学会東北支部気象研究会」  
：日本気象学会東北支部事務局
- ・報告2「2022年度 日本気象学会東北支部気象講演会」  
：盛岡地方気象台
- ・2022年度日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録
- ・事務局からのお知らせ

##### ③支部気象講演会

日 時：2022年12月3日（土）14時00分～16時00分

会 場：岩手県自治会館（オンライン配信も実施）

テーマ：「気候変動と適応策～最新の科学的知見と岩手県の暮らしや産業～」

講演者：卜部 佑介氏（仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課）

晴山久美子氏（岩手県環境生活部環境生活企画室）

参 加：68名（うち会場参加16名）

主 催：日本気象学会東北支部

共 催：盛岡地方気象台

後 援：岩手県・盛岡市・岩手大学・日本気象協会東北支社、日本気象予報士会東北支部・地球ウォッチャーズ-気象友の会-

#### ④支部気象研究会

仙台管区気象台東北地方調査研究会との共催

日 時：2022年12月12日（月）10時30分～17時15分

会 場：仙台第3合同庁舎4階第1会議室（仙台管区気象台）

講 演：18題

参加者：30名（会場参加のみカウント、Zoomによるオンライン配信も実施）

気象研究会の発表演題、著者（敬称略、発表者に○）

なお紙面の都合上、仙台管区気象台東北地方調査研究会の題目は省略

- ・令和4年8月3日の青森の大雨の解析 - I 環境場の解析  
○山口純平（青森地方気象台）
- ・2022年8月3～10日の青森県の降水と水蒸気輸送  
○谷田貝亜紀代、前田未央（弘前大学大学院理工学研究科）
- ・日本域領域再解析(RRJ-Conv.)における線状降水帯抽出の統計解析  
○松島沙苗、伊藤純至（東北大学大学院理学研究科）、福井真（気象研究所、東北大学大学院理学研究科）、廣川康隆（気象研究所）
- ・2013年8月9日に秋田県・岩手県で発生した線状降水帯の数値シミュレーション  
○小野佳祐、伊藤純至（東北大学大学院理学研究科）
- ・メソアンサンブルのクラスタリングによる決定論的サブシナリオ構築の検討  
○森川浩司、池田翔、小笠原敦（仙台管区気象台予報課）、小野耕介（気象研究所）
- ・メソアンサンブル予報を用いた決定論的予測手法の改善  
-アンサンブルスプレッドの改良による複数シナリオの改善-  
○池田翔、小笠原敦、森川浩司（仙台管区気象台予報課）、小野耕介（気象研究所）
- ・日本域領域再解析のアンサンブルメンバーを用いた2019年台風第19号に伴う大雨の解析  
○廣瀬大河、伊藤純至、岩崎俊樹（東北大学大学院理学研究科）、福井真（気象研究所、東北大学大学院理学研究科）
- ・気象庁メソアンサンブル予報を用いた凍霜害ガイダンス開発に関する研究  
○池田翔（仙台管区気象台）、山崎剛（東北大学）

また、日本気象学会東北支部発表賞の今年度の受賞者は以下のとおり。

○小野佳祐（東北大学）

「2013年8月9日に秋田県・岩手県で発生した線状降水帯の数値シミュレーション」

○松島沙苗（東北大学）

「日本域領域再解析(RRJ-Conv.)における線状降水帯抽出の統計解析」

**⑤日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）**

2021年度同様に『本行事は対面で行うことが重要』との方針の中、年度末の開催も含め対面型のイベント開催の可能性を模索したが、年明け以降の新型コロナウイルス第8波の感染拡大により、2022年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止することとした。

**⑥日本気象学会小倉奨励賞の推薦**

・推薦なし

## (1) 2022年度会計報告 (2023年3月31日時点)

## 〔支部一般会計〕 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
<b>I 収入の部</b>			
<b>事業活動収入</b>			
<b>本部交付金</b>			
一般交付金(仮名)	*1532,400円	0円	532,400円
普及啓発活動への助成	*140,000円	0円	40,000円
気象予報士会東北支部分担金	*220,000円	0円	20,000円
<b>前期繰越金</b>	440,089円	440,089円	0円
<b>事業収入(広告料等)</b>	0円	0円	0円
<b>雑収入</b>			
預金利息	5円	5円	0円
<b>事業活動収入計(1)</b>	1,032,494円	440,094円	592,400円
<b>II 支出の部</b>			
<b>事業活動支出</b>			
<b>事業費支出</b>			
支部気象講演会	250,000円	167,240円	82,760円
支部気象研究会	100,000円	12,636円	87,364円
支部だより	200,000円	199,980円	20円
気象サイエンスカフェ東北	60,000円	0円	60,000円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
<b>管理費支出</b>			
支部理事会	85,000円	0円	85,000円
支部役員選挙	30,000円	24,757円	5,243円
事務費	10,000円	0円	10,000円
<b>事業活動支出計(2)</b>	750,000円	419,613円	330,387円
<b>III 予備費支出</b>			
予備費支出	282,494円	400円	282,094円
<b>予備費支出計(3)</b>	282,494円	400円	282,094円
<b>当期収支 (A)=(1)-(2)-(3)</b>	0円	20,081円	
<b>次期繰越額 (A)-(残りの支出予定額)</b>	0円	20,081円	

\*12022年度は、2020年以降コロナ禍のため支部活動が縮小していたとして、全国的に本部からの一般交付金および普及活動への助成は無かった。

\*22022年度は対象事業(気象サイエンスカフェ東北)を実施しなかった。


議題4. 2022年度会計監査報告

(2022年4月1日～2023年3月13日)

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2023年3月14日

日本気象学会東北支部会計監査


島津勝也 

(2023年3月14日～2023年3月31日)

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2023年7月3日

日本気象学会東北支部会計監査

斉藤重隆 

## 議題5. 2023年度事業計画案および予算案

### (1) 2023年度事業計画案

#### ①支部理事会

- ・例年は年2回（5～7月、3月頃予定）開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。

#### ②支部だより

- ・年2回発行(第97号、98号)の予定
- ・支部だより第97号 TOPIC 記事執筆：弘前大学岡崎淳史先生
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2022年度と同様に業者発注とする。

#### ③支部気象講演会

##### 【概要】

日 時：令和5年11月18日（土）

会 場：秋田県社会福祉会館

テーマ：線状降水帯・温暖化と農業（仮）

講 師：廣川 康隆（気象研究所）

増本 隆夫（秋田県立大学）

- ・2023年度は秋田県で開催予定。今後準備を進めていく。

##### 2016年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2016年度	盛岡市	山本 浩之 (福島大学)	名越 利幸 (岩手大学)	
2017年度	秋田市	和田 幸一郎 (秋田地方気象台)	本谷 研 (秋田大学)	
2018年度	山形市	小杉 健二 (新庄雪氷実験所)	川瀬 宏明 (気象研究所)	
2019年度	弘前市	加藤 輝之 (気象大学校)	木所 英昭 (東北区水産研究所)	
2020年度	仙台市 (web開催)	岩井 弘樹 (仙台管区気象台)	早坂 忠裕 (東北大学)	
2021年度	福島市 (web開催との ハイブリッド)	小野寺 晃一 (福島地方気象台)	安達 義輝 (福島県農業総合セ ンター)	吉田 龍平 (福島大学)
2022年度	盛岡市 (web開催との ハイブリッド)	卜部 佑介 (仙台管区気象台)	晴山 久美子 (岩手県)	



方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

#### ④支部気象研究会

例年仙台管区気象台との共催で開催しているが、2023年度は、秋季大会を仙台市で開催するため、本年度に限り開催を休止する。

#### ⑤日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

- ・第11回気象サイエンスカフェ東北を、仙台市で開催する。講師補助等は、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う。

##### 【概要】

日 時 : 令和5年12月2日（土）13:30～15:30  
会 場 : たまきさんサロン セミナースペース  
テーマ : 気候変動（地球温暖化）（仮）  
話題提供 : 中川憲一（仙台管区気象台）  
募集人数 : 20名  
対象者 : 小学4年以上成人まで

#### ⑥日本気象学会小倉奨励賞の推薦

(2) 2023 年度予算案

〔支部一般会計〕（※マイナスの金額には、△印を付した。）

	2023 年度 予算額	2022 年度 予算額	予算増減額 [2023 年—2022 年]	2022 年度 決算額
<b>I 収入の部</b>				
<b>事業活動収入</b>				
<b>本部交付金</b>				
一般交付金(仮名)	*1560,000 円	*1532,400 円	27,600 円	0 円
普及啓発活動への助成	*140,000 円	*140,000 円	0 円	0 円
気象予報士会東北支部分担金	*210,000 円	*220,000 円	△10,000 円	0 円
前期繰越金	20,081 円	440,089 円	△420,008 円	440,089 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円	0 円
<b>雑収入</b>				
預金利息	5 円	5 円	0 円	5 円
<b>事業活動収入計(1)</b>	630,086 円	1,032,494 円	△402,408 円	440,094 円
<b>II 支出の部</b>				
<b>事業活動支出</b>				
<b>事業費支出</b>				
支部気象講演会	250,000 円	250,000 円	0 円	167,240 円
支部気象研究会	0 円	100,000 円	0 円	12,636 円
支部だより	200,000 円	200,000 円	0 円	199,980 円
気象サイエンスカフェ東北	60,000 円	60,000 円	0 円	0 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円	15,000 円
<b>管理費支出</b>				
支部理事会	85,000 円	85,000 円	0 円	0 円
支部役員選挙	0 円	30,000 円	△30,000 円	24,757 円
事務費	10,000 円	10,000 円	0 円	0 円
<b>事業活動支出計(2)</b>	620,000 円	750,000 円	△30,000 円	419,613 円
<b>III 予備費支出</b>				
予備費支出	¥10,086 円	282,494 円	△272,408 円	400 円
<b>予備費支出計(3)</b>	¥10,086 円	282,494 円	△272,408 円	400 円
<b>当期収支差額</b> (A)=(1)-(2)-(3)	0 円	0 円	0 円	20,081 円

\*1本部交付金は、①5/1時点の会員数155名×1,200円の186,000円、②各支部一律額350,000円、③夏期大学(東北支部なし)0円、④普及啓発活動への助成40,000円(1件20,000円×2件(サイエンスカフェ、気象講演会))の合計576,000円を10万単位で丸めたもの。

\*22023年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

## 議題6. その他

### (1) 2023年度秋季大会実行委員会委員の補充

#### 日本気象学会東北支部 2023 年度秋季大会実行委員会委員

2023 年 6 月 日現在

★：令和5年度から参加された方

委員長	：小出 寛	(仙台管区気象台長)
副委員長	：早坂 忠裕	(東北大学大学院理学研究科教授)
委員	：森本 真司	(東北大学大学院理学研究科教授)
	山崎 剛	(東北大学大学院理学研究科教授)
	伊藤 純至	(東北大学大学院理学研究科准教授)
	岩渕 弘信	(東北大学大学院理学研究科准教授)
	白川 栄一	(日本気象予報士会東北支部) ★
	関口 元朝	(日本気象協会東北支社)
	細見 卓也	(仙台管区気象台気象防災部長) ★
	Pradeep Khatri	(東北大学大学院理学研究科講師) ★
	黒田 剛史	(東北大学大学院理学研究科助教) ★
	中川 広務	(東北大学大学院理学研究科助教) ★
	村田 功	(東北大学大学院環境科学研究科准教授) ★
	蒔苗 仁	(仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課地域防災対策支援調整官)
	中川 憲一	(仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課地球温暖化情報官) ★
	楠本 絵莉子	(仙台管区気象台気象防災部予報課技術専門官) ★

### (2) 2023年度秋季大会実行委員会進捗状況

#### 日本気象学会 2023 年度秋季大会 経過と今後の行動計画

年 月	本部等	実施事項 (東北支部)
2020 年 3 月		☑会場仮予約 (仙台国際センター)
2022 年 3 月		☑2021 年度第 2 回理事会…準備委員会の立ち上げ等の確認
7 月	学会大会のあり方についての打合せ (第 1 回)	☑第 1 回準備委員会 (日程案、予算案)
8 月		☑第 2 回準備委員会 (日程案、予算案)
10 月	秋季大会 (札幌)	

2023年 1月	1/24 支部長会議（本部に予算説明）	<input checked="" type="checkbox"/> 予算案作成、本部に報告
2月		<input checked="" type="checkbox"/> 第1回実行委員会：メンバーと分担、大会行事予定、予算
3月		<input checked="" type="checkbox"/> 第2回実行委員会（+2022年度第2回支部理事会）：大会告知情報、予算、寄付
4月		<input checked="" type="checkbox"/> 大会告示原稿の送付 → <input checked="" type="checkbox"/> 講演企画委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 異動に伴う欠員の補充等 <input type="checkbox"/> 国際センター仮予約 → <del>使用申込書の提出</del> <input checked="" type="checkbox"/> 仙台国際協会助成金（ハイブリッド※）申請要件等確認
5月	春季大会 （16-18日、 19-20日）	<input checked="" type="checkbox"/> 春季大会視察 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員（補充）の選任、委嘱手続き <input checked="" type="checkbox"/> 仙台国際協会助成金（ハイブリッド※）申請（5/16申請, 5/19決定通知） <input type="checkbox"/> 第3回実行委員会（+2023年度第1回支部理事会）：実行委員会再構成、分担、予算、スケジュール等確認
6月	Website公開	<input checked="" type="checkbox"/> 企業展示・寄付・広告・リクルートブース依頼 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員（補充）の委嘱手続き
7月	講演申込〆切	<input type="checkbox"/> 第3回実行委員会：実行委員会再構成、分担、予算、スケジュール等確認 <input type="checkbox"/> 予算確定 <input type="checkbox"/> 国際センター仮予約 → 使用申込書の提出
8月	プログラムHP 公開  参加申込〆切	<input type="checkbox"/> 秋季大会交付金増額（差額分）の申請 <input type="checkbox"/> 学会本部からの依頼事項を受理 <input type="checkbox"/> 各研究会からの申込、会場手配 <input type="checkbox"/> 当日の連絡先電話（レンタル）の手配 <input type="checkbox"/> プログラム原稿のための必要資料送付（講演企画委員会） <input type="checkbox"/> 企業展示・寄付・広告・リクルートブース請求書発送 <input type="checkbox"/> 各委員会の申込 <input type="checkbox"/> 第4回実行委員会：大会プログラム、パート別企画、事前登録・寄付・広告・助成金・各委員会の進捗、予算・会計、スケジュール等確認

9月	「天気」9月号 プログラム掲載	<input type="checkbox"/> 研究会の会場手配（講演企画委員会へ連絡） <input type="checkbox"/> 委員会の会場手配（学会本部へ連絡） <input type="checkbox"/> 国際センター施設使用料納入期限（利用日の1か月前まで） <input type="checkbox"/> 国際センター下見
10月	秋季大会（23－ 26日）	<input type="checkbox"/> 第5回実行委員会：進捗状況等の確認 <input type="checkbox"/> 秋季大会直前業務 … 備品等準備、弁当手配、最終確認 <input type="checkbox"/> 秋季大会当日業務
11月		<input type="checkbox"/> 企業賛助等へのお礼状の発送 <input type="checkbox"/> 研究会会場費等の請求 <input type="checkbox"/> 委員会会場費等の請求 <input type="checkbox"/> 仙台国際センター付帯設備使用料の納入期限（会議後2週間以内） <input type="checkbox"/> 各パート報告書作成
12月		<input type="checkbox"/> 第6回実行委員会：実施報告書 <input type="checkbox"/> 仙台観光国際協会に実施報告書の提出（提出後に助成金交付） <input type="checkbox"/> 本部へ残金返却 <input type="checkbox"/> 実施報告書・総括の送付

※前回2018年秋季大会時の「仙台市大規模国際コンベンション開催助成金」ではなく、「ハイブリッド会議開催助成制度（上限30万円）」を活用予定（5/16付で申請し、5/19付の交付決定通知書受領）

### （3）日本気象学会全国大会のあり方について

6月23日に「日本気象学会春季・秋季大会のあり方について」の説明会が行われ、大会運営改革について本部理事会での決定の経緯の説明と、今後の方向についての議論がなされた。東北を含む各支部より、最近の大会の実施・準備状況の報告と、本決定に際して本部と支部のすり合わせが充分でなかった点、従来地方大会を運営してきた支部のリソースが枯渇しつつある現状等について厳しい意見があった。すでに準備が進む数年先までの全国大会については現在の計画で進めつつ、並行してさらなる大会運営の改善を本部理事会で検討する方向性が示された。

#### (4) 事務局から

##### ① 東北支部会員数（個人会員）

2023年6月26日現在

県名	会員数	2023. 03. 09
青森県	20名	20名
岩手県	11名	10名
秋田県	14名	12名
山形県	11名	12名
宮城県	77名	74名
福島県	23名	22名
合 計	156名	150名

6名増

支部メーリングリスト登録者数

2023年6月26日現在

県名	登録者数	2023. 03. 09
青森県	19名	18名
岩手県	8名	7名
秋田県	12名	11名
山形県	9名	10名
宮城県	74名	70名
福島県	19名	18名
合 計	141名	134名

7名増

##### ② 旅費等について

交通費については

青森は 22,900円〔11,420円×2〕

弘前は 23,300円〔11,640円×2〕

秋田は 21,100円〔10,560円×2〕

盛岡は 13,600円〔6,790円×2〕

山形は 2,400円〔1,170円×2〕

福島は 2,700円〔1,340円×2〕

仙台、岩沼は片道500円をお願いします。

※100円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は、上記に準ずるものとします。

消費税率引き上げ（2019年10月1日）による運賃・料金の改正を適用。

## 日本気象学会東北支部第 33 期 2023 年度役員名簿（案）

2023 年 7 月 4 日現在

支部長	小出 寛	仙台管区気象台長
常任理事	菅原 敏	宮城教育大学教授（理科教育講座）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	細見 卓也	仙台管区気象台気象防災部長
	中野 裕	日本気象協会東北支社総務課長
	橋本 竜	仙台管区気象台気象防災部予報課長
	森本 真司	東北大学大学院教授（理学研究科）
地方理事	山崎 剛	東北大学大学院教授（理学研究科）
	山本 佳緒里	秋田地方気象台長
	谷田貝 亜紀代	弘前大学大学院教授（理工学研究科）
会計監査	齊藤 重隆	仙台管区気象台気象防災部次長
幹事	伊藤 純至	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	岩淵 弘信	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	蒔苗 仁	仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課地域防災対策支援調整官
	中川 憲一	仙台管区気象台気象防災部地域防災推進課地球温暖化情報官
	楠本 絵莉子	仙台管区気象台気象防災部予報課技術専門官

## 日本気象学会東北支部規則（案）

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正
平成 28. 2. 29	第 13 条を改正
令和 5. 7. 4	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。  
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。  
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（4～5 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。  
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。  
（1）事業計画および収支決算  
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。



付則

第20条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

## 日本気象学会東北支部細則

昭和 33. 7. 5	成立
昭和 40. 11. 18	1 項を改正
昭和 41. 3. 15	7 項を改正
昭和 60. 3. 19	12、13、14 の各項を改正
平成 6. 2. 28	1、8、9、12、13 の各項を改正
平成 22. 6. 11	1 項を改正
平成 27. 3. 12	1 項を改正
令和 1. 7. 10	日本気象学会東北支部発表賞の条項を追加

### 1. 理事選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8～11 名選出する。このうち在仙理事 5～8 名、地方理事若干名とする。  
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

### 2. 日本気象学会東北支部発表賞

- 1 日本気象学会東北支部発表賞（以下「支部発表賞」という。）受賞者を選定するため、支部発表賞候補者推薦委員会を設ける。
- 2 委員会は支部常任理事および支部長が指名した支部会員をもって組織する。
- 3 委員会は、支部研究発表会において優れた講演を行った支部会員から、原則として 2 名程度を選び、受賞者を支部理事会に推薦する。原則、半数以上を学生会員とする。ただし、委員は受賞対象とはならない。
- 4 支部発表賞は賞状・副賞（賞金）とし、これを受賞者に贈呈する。

以上